

令和7年度 平野区区政会議（5月）全体会 会議録

1 開催日時

令和7年5月29日（木） 19時00分～21時00分

2 開催場所

コミュニティプラザ平野（平野区民センター）大ホール

3 出席者

（区政会議委員）22名

東委員、伊東委員、大久保委員、應矢委員、菊地委員、黒田委員、菰田委員、
齊藤委員、篠原委員、鈴木委員、立石委員、田部井委員、戸川委員、農野委員、
八野委員、濱田委員、福島委員、松野委員、南委員、明浄委員、四辻委員、
和田委員

（平野区選出市会議員）2名

永井議員、永田議員

（平野区役所職員）22名

東中区長、安井副区長、立本安全安心まちづくり課長、
京極まちづくり推進担当課長、塩野企画調整担当課長、
松本総務課長、木村安全安心まちづくり課長代理、
植山防災企画担当課長代理、西田保健福祉課長、
小林地域保健担当課長、中西生活支援課長、
澤井保健福祉課長代理、小山保健福祉課長代理、保坂地域担当課長代理、
川島保健副主幹、齊藤保健副主幹、丸山子育て支援担当課長、
中井政策推進課長兼教育担当課長、星野政策推進課長代理、

尾崎こども家庭担当課長代理、上窪こども見守り担当課長代理、
松元総務課担当係長

4 議題

- (1) 令和6年度平野区運営方針の評価（振り返り）について
- (2) 平野区将来ビジョンの振り返りと新たなビジョン策定に向けて

5 会議内容

○司会（高塩政策推進課担当係長）

皆さん、こんばんは。

それでは、ただいまより令和7年度平野区区政会議5月全体会を開催いたします。

本日はご多忙の中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

私は司会を務めさせていただきます、平野区役所政策推進課、高塩でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、区長からご挨拶申し上げます。

○東中区長

改めまして、ただいまご紹介いただきました、区長の東中でございます。この4月から新たに着任をさせていただいております。ご挨拶が遅れまして恐縮でございますが、何とぞ皆様方、よろしくお願いを申し上げます。そして改めまして議長、副議長、また区政会議委員皆様方、本当にお忙しい中ありがとうございます。皆様方の議論、ご意見、またお力のおかげをもちまして、平野区政、着実に進めさせていただいております。重ねて感謝を申し上げます。また、ご出席の市会議員の先生におかれまして、オブザーバーということで貴重なお時間をいただいております。誠にありがとうございます。本日は皆様のご意見をどうか議会活動のご参考となさっていただけま

すと大変うれしく存じます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

区政という地域行政は、やはり連続性、継続性ということが非常に大切と思っております。といいますのは、突如、急激な方針転換というようなことがございますと、やはり地域の皆様方に混乱とご迷惑をおかけすることになりかねないわけでございます。とはいうものの、では漫然と私ども行政も仕事を続けていけばいいのかというと、決してそういうことではございません。技術も社会もどんどん変わってまいります。皆さんの意識ということも、どんどんと動いてまいります。世界の情勢ということが今この地域にも本当に直結するような、そういうスピードの速い時代でございます。継続性、連続性という行政のいい部分と、そして変化に対応していく、新しいことも加えていくということと、そうした要素をどのように組み合わせていったらいいのか、これは私どもも施策を考えて実行する上で常に悩んでいるところでございます。そこで、区政会議委員皆様方の本当に率直なご意見をいただくということが大変ありがたいところでございます。行政の分野は多数ございます。これは前の区長、武市区長でございましたけれども、その時代からしっかりと受け継ぎながら、そして私ども理事者、副区長、課長、課長代理、そして平野区職員は400名からございます。皆、力を合わせて、皆様方と一緒によりよい平野区にしていきたい、そのように存じておりますので、何とぞよろしくお願いを申しあげたく思います。

本日は振り返りということで、令和6年度の振り返り、そしてまた運営の方針、向こう数年間のまた新しい組立てを考えていくというところの次のステージへの時期にも当たっております。そうしたところのご説明を申しあげながら、皆様方のいろいろなお考えやご意見ということを賜って、また、私どももそのことに関しまして、本日お返事をさせていただける限りは、できるだけお返事をさせていただき、そして、これは持ち帰って検討を深めようというようなことは、率直に持ち帰らせてくださいと、いろいろな応答もさせていただきながら、本日の区政会議、皆様方におかれましても、そしてこの行政としてもよりよいものとなって、ひいては18万5,000人、平野

区民皆さんにとってよりよい平野区となっていく、そうした流れにつながっていきま
すと大変うれしく存じます。何とぞ、本日皆様方のお力をお借りできますよう心から
お願いを申しあげまして、ご挨拶に代えさせていただきます。

本当にありがとうございます。どうぞよろしくお願ひ申しあげます。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

続きまして、本日ご出席の皆様と関係者のご紹介でございますが、お配りしてあり
ますA3両面の平野区区政会議委員及び関係者名簿をご覧ください。表面が名簿、裏
面が座席表となっております。今回、瓜破北地域活動協議会からの推薦委員につきま
して変更がございます。前任の白石委員に代わりまして、ご就任いただいております
東委員でございます。

○東委員

こんばんは。東です。よろしくお願ひいたします。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

なお、東委員におかれましては、意見交換会において、白石委員の後任として、地
域福祉グループに所属していただくこととなっておりますので、皆様どうぞよろしく
お願ひいたします。

その他、委員の皆様及び区役所職員の紹介につきましては、大変恐縮ですが、こち
らの名簿をもちまして、紹介とさせていただきます。

続きまして、本日、オブザーバーとしてご出席いただいている市会議員の皆様をご
紹介させていただきます。

永田典子議員、永井広幸議員でございます。

○永田議員

こんばんは、よろしくお願いいたします。

○永井議員

よろしくお願いいたします。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

続きまして、傍聴者などをご報告させていただきます。本日、傍聴、並びに報道機関の取材はございません。

それでは次に、本日使用する資料の確認をさせていただきます。資料右上に番号を付けております。事前に送付した資料として、【事前資料1】から【事前資料5】、当日の配布資料として、【当日資料1】から【当日資料4】となっております。なお、【当日資料2】「令和6年度平野区運営方針評価シート」につきましては、【事前資料3】と同じものになります。こちらは、本日提出用として改めて配付させていただいております。資料の不足や事前送付資料を本日持参されていない方は、お手数ですが、挙手にてお近くの事務局職員までお声がけいただきますようお願いいたします。

それでは、ここで本日のタイムスケジュールについて、簡単にご説明させていただきます。まずは次第のとおり、区役所から今回の議題であります、「令和6年度運営方針振り返り」及び「将来ビジョンの振り返りと新たなビジョン策定に向けて」を約30分程度でご説明させていただき、委員の皆様には評価いただきます。なお、事前に送付している次第では、19時50分までとなっておりますが、本日改めて配付している次第のとおり、19時40分までの予定でございますので、よろしくお願いいたします。

次に各グループに分かれて、評価や今後について意見交換を行っていただきます。小グループは、移動休憩も含めて60分程度を予定しております。その後、再び今の

お席に戻っていただき、全体会を再開いたします。この場では、各グループで出されたご意見の報告などをしていただきます。終了は21時を予定しておりますので、円滑な進行にご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、ここから農野議長に議事進行をお願いします。

最初に、会議の成立及び会議の公開について、ご確認をお願いいたします。現在の出席委員は21人です。

○農野議長

ありがとうございます。

それでは、本日の次第に従って進めてまいりたいと思いますが、まず会議の成立と公開について確認させていただきます。平野区区政会議は、委員定数の過半数の出席をもって会議が有効となるところです。今日は委員31名の中、21名のご参加をいただいておりますので、本会議は有効であることをご報告いたします。

また、この会議は録音・録画され、後日、会議の様子や会議録がホームページ等で公開されます。

また、限られたお時間の中、多数の委員の皆様にご出席いただいておりますので、会議の円滑な進行にご協力くださいますようお願い申し上げます。

それでは、本日の議題となります「令和6年度平野区運営方針の振り返り」及び「将来ビジョンの振り返りと新たなビジョン策定について」ご説明をいただきたいと思いますが、区役所よりご説明をよろしくお願いいたします。

○中井政策推進課長

平野区役所政策推進課、中井でございます。いつも大変お世話になり、本当にありがとうございます。本年度も何とぞよろしくお願いいたします。

大変失礼いたしますが、着座にて説明させていただきます。

まずは議題1、令和6年度平野区運営方針の振り返りについてご説明申し上げます。資料につきましては、右上に【事前資料2】と記載しております「令和6年度平野区運営方針の振り返り【説明資料】」を用いて説明させていただきます。委員の皆様におかれましては、それを踏まえて評価シートをご記入いただければと存じます。ご記入いただく評価シートは、本日改めて配付させていただきましたA3判の横長のシートで、右上に【当日資料2】と記載させていただいております「令和6年度平野区運営方針評価シート」という用紙をご用意をお願いいたします。

まずはその評価シートをご覧ください。一番左端に「項目」という欄がございます。例えば経営課題1であれば、地域防災力の向上など4つの項目がございます、3つの経営課題で、合わせて7つの項目がございます。この後、私より説明させていただきます運営方針の自己評価や、各取組の実績などが経営課題の各項目の実現に有効であったかどうかをご評価していただきます。各項目について、私の説明を聞きながら結構ですので、右から2つ目にあります、「項目」の実現に有効であったと思えますか？という欄に思う・やや思う・あまり思わない・思わないと4つの項目がございますので、いずれか1つに丸をお願いいたします。

また、評価理由や各経営課題に対するご意見がございましたら、一番右端にあります「評価理由」の欄にご記入をお願いいたします。この評価シートは、会議の終わりに回収させていただきます。

それでは、この評価シートをお手元に置かれた状態で、【事前資料2】「平野区運営方針の振り返り説明資料」をご覧くださいませでしょうか。右上にページ数をつけていただいております。

まずは3ページをご覧くださいませでしょうか。経営課題1、地域防災力の向上でございます。主な戦略は、地域住民などが参加する自主防災組織の主体的な活動支援でございます。アウトカム指標であります、自主防災組織主体の地域防災活動の実施地域数につきましては、令和6年度実績が全23地域のうち22地域となっております、

目標を上回っております。

次に、4ページをご覧ください。自己評価でございますが、防災シンポジウムを開催し、防災啓発を行い、また、防災情報の発信や、大和川氾濫時の浸水深表示の取組などの啓発活動を実施いたしました。さらに、防災リーダーの連絡会議や講習を通じて防災知識・技術の向上を図り、消防署と連携して地域防災訓練の実施を支援させていただきました。

取組実績につきましては、記載のとおりでございます。

今後の方針といたしましては、情報発信や防災訓練の実施支援を継続し、地域防災力の向上に取り組んでまいります。

続きまして、5ページをご覧ください。地域防犯力の向上でございます。主な戦略は、地域全体で犯罪を発生させないような環境づくりの推進でございます。アウトカム指標であります、地域と関係機関の協働による特殊詐欺被害防止の啓発活動の実施回数につきましては、令和6年度実績が23回となっており、目標を上回っております。

次に、6ページをご覧ください。自己評価でございますが、地域や警察などと連携させていただき、防犯パトロールなどを実施し、特殊詐欺被害の防止に向けては様々な機会において積極的に啓発活動を行い、機器の無償貸与などの取組を実施いたしました。

取組実績につきましては、記載のとおりでございます。

今後の方針といたしましては、地域や警察と連携した啓発活動や、地域の実情に応じた防犯カメラの設置など、地域防犯力の向上に取り組んでまいります。

次に、7ページをご覧ください。地域活動力の向上でございます。主な戦略は、まちづくりセンターを活用した地域活動協議会の支援と、地域の緑化推進による幅広い年齢層の交流支援でございます。アウトカム指標であります、種花事業で育てた花苗の配布地域数につきましては、令和6年度実績が23地域となっており、目標を達成しております。

次に、8ページをご覧ください。自己評価でございますが、各地域の活動について、ホームページやXなどで紹介させていただいたほか、まちづくりセンターを活用し、地域活動協議会が自ら発行する広報誌の作成支援や地域情報の広報を行いました。

取組実績は、記載のとおりでございます。

今後の方針といたしましては、地域の実情に即した途切れのない支援が展開できますよう取り組んでまいります。

次に、9ページをご覧ください。地域魅力の向上でございます。主な戦略は、区民ニーズなどを踏まえた未利用地の有効活用でございます。自己評価でございますが、長吉地域東部、その他の未利用地について売却を推進いたしました。

取組実績は、記載のとおりでございます。

今後の方針といたしましては、引き続き区民ニーズなどを踏まえさせていただいた上で、未利用地の有効活用を行い、魅力あるまちづくりを推進してまいります。

ここまでの、経営課題1「安全・安心のまちづくり」の説明でございます。ここで少しお時間を取らせていただきますので、順次、評価シートへのご記入のほどよろしくお願いいたします。

恐れ入ります。まだご記入されている方もいらっしゃるかと存じますが、お時間の関係もでございますので、説明を再開させていただきたいと存じます。

次に、10ページをご覧くださいませでしょうか。経営課題2「地域福祉力の向上」でございます。主な戦略でございますが、第3期平野区地域保健福祉計画に沿って、安定的かつ継続的に取り組む、地域福祉活動コーディネーターが専門支援機関などとの連携による見守りなどの体制を機能させる、健康寿命延伸のための運動習慣や認知症の発症予防などの取組の支援の3つでございます。アウトカム指標であります、地域福祉活動コーディネーターが、関係機関と連絡調整した活動件数につきまして、令和6年度実績が1地域当たり月平均で34.1件となっており、目標を上回っております。

次に、11ページをご覧ください。自己評価でございますが、専門支援機関などと連携を図り、地域の窓口として中心的な役割を担い、地域福祉力の向上に努めました。また、健康寿命の延伸を図るため、いきいき百歳体操サポーターの養成や認知症予防などの健康講座を実施いたしました。

取組実績は、記載のとおりでございます。

今後の方針といたしましては、地域福祉活動コーディネーターによる新たな担い手の発掘・育成や、「ひらの百歳☆きらめき講座」や認知症予防などのための健康講座を実施してまいります。

次に、12ページをご覧ください。経営課題3「子育て支援の充実」でございます。主な戦略は、児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援、複合的な課題を抱える子育て世帯に対する総合的な支援と高校生活の定着支援でございます。アウトカム指標であります、こどもサポートネット支援対象者件数につきまして、令和6年度実績が307件となっております、目標を達成しております。

次に、13ページをご覧ください。自己評価でございますが、要保護児童などのアセスメントを行い、支援が必要なケースに対してフォローを行うとともに、子育て中の親の孤立化を防ぐための情報発信や、支援者や団体とのつながりを深める場づくりに取り組ませていただきました。また、複合的な課題を抱えるこどもやその世帯について、関係機関などと連絡し、適切な支援制度などにおつなぎいたしました。

取組実績は、記載のとおりでございます。

今後の方針といたしましては、要保護児童などとその世帯へのタイムリーな支援の継続、複合的な課題を抱える児童及びその世帯に寄り添う支援の継続、高校卒業後も途切れることのないよう、関係機関と連携した支援を継続してまいります。

次に、14ページをご覧ください。「こどもの学習意欲の向上」でございます。主な戦略は、読書運動や清掃活動など、様々な活動に対する表彰や学力サポート事業の実施でございます。アウトカム指標であります、全国学力・学習状況調査での学校に

行くのは楽しいと感じる生徒の割合につきまして、令和6年度実績が76.9%となっており、目標を達成しております。

15ページをご覧ください。自己評価でございますが、読書ノートの実績達成率は、小学校で25.3%であり、約4人に1人が目標に到達しております。また、中学生の実績達成率も過去最高の数字となり、こどもたちに定着しつつあると考えております。

取組実績は、記載のとおりでございます。

今後の方針といたしましては、がんばる小・中学生の表彰など、学校と連携した取組の継続、また読書ノートにつきましては周知の充実などを行い、表彰者数のより一層の向上に努めてまいります。

以上で、経営課題の各項目について、取組実績などを説明させていただきました。

ここで再度、少しお時間を取らせていただきますので、残りの評価シートのご記入をよろしくお願いいたします。

誠に恐れ入ります。まだご記入されている方もいらっしゃるかと存じますが、お時間の関係もございますので、次の議題2「平野区将来ビジョンの振り返りと新たなビジョン策定に向けて」の骨子素案の説明に移らせていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。資料につきましては、【事前資料5】「新たな将来ビジョン策定に向けたワークシート」をまずお手元にご用意いただけますでしょうか。事前資料の5でございます。このワークシートは、新たな将来ビジョンを作成するために皆様のご意見を参考にさせていただくものでございます。ワークシートには4つの質問を記載しておりますので、それぞれご記入をよろしくお願いいたします。ご記入いただいた内容は、後ほどのグループ別意見交換会におきまして、必要に応じ議論の材料としてご活用いただければと存じます。また、会議終了後にこのワークシートは回収させていただきますので、よろしくお願いいたします。

さて、このワークシートにご記入いただく前に、まずは現行の平野区将来ビジョン

の振り返りと新たなビジョンの骨子の素案について、私より引き続きご説明申し上げますので、お手元の【事前資料4】をご覧くださいませでしょうか。お手元、【事前資料4】、タイトルが「平野区将来ビジョンの振り返りと新たなビジョン策定に向けて（骨子素案）」となっております。こちらの資料の、まず3ページご覧いただけますでしょうか。将来ビジョン策定の目的でございますが、将来ビジョンは、区政の運営において区のめざす将来像をお示しし、その実現に向けた施策の方向性を区民の皆様にも明らかにさせていただくものでございます。現行の平野区将来ビジョンは、令和4年度から7年度までの計画期間となっておりますので、次は、令和8年度から11年度を見据えた中長期ビジョンの策定を見据えております。

次に、4ページをご覧ください。新たなビジョンの策定に向け、まずは現行のビジョンの振り返りを簡潔にさせていただきます。現行の将来ビジョンでは、めざす将来像であります「笑顔輝くまち ひらの」の実現のために、「安全・安心のまちづくり」、「みんなで支えあう福祉のまちづくり」、「こどもが元気で育つまちづくり」の3つの柱に基づいて施策を推進させていただいております。

次に、5ページをご覧ください。安全・安心まちづくりにつきまして、めざすまちの姿は、「誰もが愛着を持ち、安心して住み続けることができるまち」でございます。課題といたしましては、多発する自然災害、特殊詐欺やこどもを狙った犯罪の多様化、町会・自治会の加入率低下、区民のニーズに合ったまちづくりの推進でございます。具体的な取組でございますが、赤字で記載させていただいているとおり、防災意識の普及啓発、地域住民との協働や警察との連携、様々な人の地域活動への参加、未利用地の有効活用に取り組むなどとさせていただいております。

次に、6ページをご覧ください。将来ビジョンの計画期間を通じた自己評価についてでございます。まず、地域防災力の向上に関しましては、コロナの感染拡大に伴い、防災に関する地域活動を制限していた地域が多くございましたが、令和5年度以降は、地域での防災訓練をはじめ、学校での防災事業を幅広く展開し、消防署と連携した実

施支援を行うことができました。

次に、地域防災力の向上に関しましては、街頭での犯罪などの発生状況は、この数年で地域と警察の皆様との連携による啓発活動のおかげをもちまして、減少傾向にございます。特殊詐欺被害につきましては、被害金額が増加している状況でございます。高齢者の方々だけにとどまらず、若年者の方々にまで幅広く啓発できるよう、引き続き取り組んでまいります。

次に、7ページをご覧ください。地域活動力の向上に関しましては、まちづくりセンターを活用させていただきながら、広報活動に力を入れてまいりました。コロナによって縮小・中止されていた地域活動も再開されておられますが、コロナ禍前の担い手が戻ってこない地域もございまして、今後も各種活動に対しまして、継続して支援をさせていただく必要がございます。

次に、地域魅力の向上に関しましては、長吉ウェルカムタウン計画の振り返りをさせていただき、今後の方向性をお示しし、まちの魅力向上に向けた未利用地の有効活用に努めてまいりました。

次に、8ページをご覧ください。2つ目の柱であります「みんなで支えあう福祉のまちづくり」につきまして、めざすまちの姿は、「すべての人がお互いを尊重しつつ、つながり支えあえるまち」でございます。課題といたしましては、高齢者や支援を要する方が多いこと、高齢者の健康増進や生きがいづくり、高齢単身者の孤立化、支援を必要とされている方の早期発見や早期支援、認知症や障害のある方などへの正しい理解などがございます。具体的な取組につきましては、地域の実情に応じた地域支援体制が有効に機能し、認知症などの様々な状況に対する理解を深めるように努めるとさせていただきます。

次に、9ページをご覧ください。自己評価でございますが、広報紙などを活用して、地域福祉活動コーディネーターや事業内容について広く周知させていただきました。また、認知症の予防や認知症になっても住み慣れた地域の活動に参加できるよう、い

きいき百歳体操の支援を実施させていただきました。

次に、10ページをご覧ください。3つ目の柱であります「こどもが元気で育つまちづくり」につきまして、めざすまちの姿は、「こどもたちが家庭、学校、地域で生まれ、健やかに成長し、次の世代を担っていくことができるまち」でございます。課題といたしましては、こどもの学力・体力の低下、不登校、SNSを使ったいじめの増加、教育力の低下や子育てに不安や悩みを持つ保護者の増加、ネグレクトや虐待、ヤングケアラーの問題などがございます。具体的な取組につきましては、妊娠期からの切れ目のない支援、児童虐待の未然防止や深刻化させないための対策の強化、基礎学力の向上や読書習慣の定着に向けた学びの支援などに取り組むとさせていただいております。

11ページをご覧ください。自己評価でございます。まず、子育て支援の充実につきましては記載のとおり、相談体制を構築することができましたが、一方で支援しながら子育て環境が改善できないケースには、より専門的な個別支援が求められています。また、高校卒業後も支援が途切れないよう、継続した支援体制を構築しています。次に、こどもの学習意欲の向上につきましては、学校に行くのは楽しいと感じる生徒の割合は76.9%と昨年度よりもやや向上しています。また読書ノートは、小学校では4人に1人が目標に到達し、課題だった中学生も少しずつですが向上いたしました。がんばる小・中学生の表彰は、児童生徒の励みになっていると学校からも評価していただいております。

振り返りにつきましては、以上でございます。

次に、12ページをご覧ください。ここからは、新たな将来ビジョンの策定に向けた内容を説明させていただきます。新たな将来ビジョンのめざす将来像といたしましては、「笑顔あふれるつながりと活気のまち」とさせていただいております。

次に、13ページをご覧ください。施策の方向性につきましては、現在の3本柱を引き継ぐ形とさせていただいております。なお、2つ目にあります、「みんなで支え

あう福祉と健康のまちづくり」につきましては、区内の高齢化率の上昇や健康寿命の延伸への取組をより一層推進する必要があるため、現行のビジョン内容から、「健康」というワードを追加させていただいております。

次に、14ページをご覧ください。取組項目を記載しております。「安全・安心のまちづくり」では、防災力の強化、防犯対策の強化、地域コミュニティの活性化、魅力あるまちづくりの推進、次の「みんなで支えあう福祉と健康のまちづくり」では、地域福祉の推進、健康づくりの推進、3つ目の「こどもが元気で育つまちづくり」では、子育て支援の充実、教育支援の充実を記載させていただいております。

以上が、新たな将来ビジョンの骨子の素案でございます。ここでまたお時間を取らせていただきますので、先ほどご紹介させていただきましたワークシートへのご記入を今からよろしくお願いいたします。

○八野委員

すみません、よろしいですか。

○中井政策推進課長

はい。

○八野委員

ワークシートの中で3番目のキーワードを表してくださいということがあるのですが、キーワードということは、自分が思ったこどもたちの笑顔とか、そういうことなのですか。それとも意見的なことなのですか、どうなのですか。これは1つの言葉を書けばいいのですか。

○中井政策推進課長

基本的にはキーワードですので、できるだけ短めの言葉というのをお書きいただければと存じますけれども、あまりそこに必ず限定していただかなくても、八野委員が思うような部分をお書きいただくというので、いろいろな意見を頂戴するというのも一つの場ではございますので。

○八野委員

そうですか。全部は書いたのですが、このキーワードと意味というところがちょっと私はどうしても納得がいかないので空けてあるのですよ。そうしたら今回の次のお話合いの中でまた探してみます。ありがとうございます。

○中井政策推進課長

誠に恐れ入ります。ご記入をまだされている方もいらっしゃるかと存じますが、また今のワークシート、それと先ほどの振り返りシートも含めて、この後小グループでの意見交換会がございますので、またそちらの場も活用しながらご記入をいただければと存じますので、あと残りの説明をあと少しだけさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

最後になります。右肩に【当日資料4】と書いてあります「大阪・関西万博大阪ウィークに平野区内の団体が参加します」という1枚物の資料をご覧くださいませでしょうか。大阪・関西万博の大阪ウィークというイベントがございまして、それに関する内容でございます。この【当日資料4】の裏面をご覧ください。去る5月9日、10日に開催されました、EXPO2025春の陣におきまして、平野区から西脇組のたんじりが参加されましたので、ご紹介をさせていただきます。

以上をもちまして、私からの説明を終了させていただきます。長時間ありがとうございました。

それではすみません、議長、よろしくお願いいたします。

○農野議長

ありがとうございます。ちょっと課題をしていただいたのですが、おそらくまだちょっと空いているところもあろうかと思いますが、次の小グループの意見交換会を踏まえて、またご記入いただけたらと思いますので、引き続き進めさせていただきます。

ここで全体会を一旦中断させていただいて、小グループの意見交換会に入ろうと思いますので、事務局の方、ご案内をよろしく願いいたします。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

皆様にご記入いただいている評価シート及びワークシートにつきましては、会議の最後に回収させていただきますので、それまでに随時ご記入をお願いいたします。

では、これから皆様には席を移動していただき、グループごとに議論をしていただきます。なお、後半の全体会では、各グループで話し合われた内容を委員の代表の方から報告していただきたいと存じますので、よろしく願いいたします。

なお、意見交換の場所ですが、安全・安心まちづくりグループにつきましては2階会議室、地域福祉グループにつきましては現在お座りいただいております、この場所の前方舞台側の机周辺、こども教育グループにつきましては、ホール、この会場入り口左手付近に設置している机になっております。各グループに見学席をご用意しておりますので、市会議員の皆様もよろしければご見学いただければと存じます。なお、移動する際、お荷物など貴重品は各自で管理をお願いいたします。

全体会の再開は、20時40分からを予定しております。

それでは、移動をよろしく願いいたします。

（小グループ意見交換会のため一時中断）

(再開)

○農野議長

それぞれのグループでのお話し合い、ありがとうございました。

それでは、ただいまより全体会を再開したいと思います。

本日の前半に、「令和6年度平野区運営方針の振り返り」及び「平野区将来ビジョンの振り返りと新たなビジョン策定に向けて」について、区役所さんからご説明をいただきました。それを基に各グループでご議論いただきましたが、その内容について、委員の皆様方から出た主なご意見について、申し訳ございませんが、代表の委員様から順にご報告をお願いしたいと思います。

こちらから順番を決めさせていただいております。申し訳ございませんが、まずは、安全安心まちづくりグループからご報告をよろしくをお願いしたいと思います。お願いいたします。

○齊藤委員

まず、私どもの会合の中で特に多かったのが、町会加入の問題ですね。例えば子ども会からの町会加入につながることもあるのですが、それ以外に高齢者の転居、脱退とかそういうものがあり、減るほうが多いんですね。加入よりも減るほうが多いということで、それともう一つ、社会的に定年が65歳以上ということになって、町会活動が難しくなっているということなので、町会の人材の年齢が非常に高くなって動きづらいという面もあるということなのです。それから各町会ごとに行事を行っても、金銭的な支援、予算の決まっている地活からは受けられないと、地活としても、増額してもらえないような状況なので、各町会に配付する金額を増やすことができないというような状況になっております。町会費を集めるときに、使い道を説明しながら集めるという工夫も必要ですけども、なかなか難しいということなので、今後町会

加入率を増やすということが話で出ているのですが、具体的な話が出てこなかったということです。

その他に議題として挙げたのが、外国人の問題、こども110番の問題、それから4月から始まったたばこの路上喫煙の問題、それとごみの問題ですね。多くの意見が出ましたが、なかなかここで説明するのがあれなので、大体そのようなところで意見が出ました。

以上です。

○農野議長

ありがとうございました。

それでは次に、地域福祉グループからお願いいたします。

○大久保委員

地域福祉グループの大久保と申します。

去年もやりまして、議事録がホームページに出ている、大阪弁が丸出しやんけとかという意見が出ていて、今日も校正があるのかどうか分かりませんが、大阪弁で行かせていただきます。

グループで話されたことについて、報告させていただきます。まず、最初に配られた資料について、何%実績達成とかというのがありましたけども、パーセントでこの数が何人を対象にした何%かというのは分からずに、ここは分かりづらいんじゃないかという意見が出ました。

それと、こっちのビジョンにも書いていますように、地域福祉は、多岐多様な問題を抱えております。ですから、安全さんとか教育さんとも絡んでいるところがあると思うのですが、これを一部の事業所とか、そういうようなところでやるというのは大変難しい。1つの案として、1人の委員が企業さんを巻き込んで、巻き込んでと

言ったらあかんけど、協力していただいて、こういった取組についてやっていったらどうだというような意見も出ました。

あと、長吉のほうにタウンができるというけども、これって結構知られている人が少ないというような感じで、うちのグループではほとんど知っていない人がいたので、ここのところはもうちょっと行政が関わっているならば、ちゃんと皆さんに分かってもらえるように工夫をしていただきたいと思います。

どうしても今の平野区というのは高齢者がたくさんいてはりまして、町会もなかなか成り手がなくて、以前ならばこの人というような人がやっていたのですが、今はくじでやったりして、人材が不足しております。こういった活動については、自治会は自治会のほうで、役所ももうちょっと協力していただきたいなという私の考えですけれども、一つ面白いというか興味があるのは、今役所の方、60歳か65歳ぐらいですかね、退職された警察の方、消防士の方、教師の方、そういうような方もこういった地域、福祉、平野区に関わりを持ってもらえるような、個人情報があるので、なかなか難しいかと思えますけれども、そういった取組もあるということと、地域福祉グループは、ここの評価シートに見ましても項目が1つしか書かれておりませんが、多岐、物すごくあると思えます。ですから当面、やはり区政会議のグループ会議とかで、皆さんとやれることをまずやっていけること、できるようなことを取り組んでいきたいかと思えます。

いつもお茶は出ていないんですけど、今日はOS1が出まして、ありがとうございます。うちわもありがとうございます。

以上です。

○農野議長

ありがとうございます。大阪弃ってやはり柔らかいですよね。ありがとうございます。

そうしましたら、最後に、こども教育グループからお願いいたします。

○鈴木委員

委員の鈴木です。

今日皆さんで話をしたのですけれども、将来ビジョンの振り返りということで、この冊子で10ページ・11ページにこどもたちが地域で生まれ健やかに成長し、次の世代を担っていくことができるまちというところでいろいろな意見が出ておったのですけれども、2つ挙げさせていただきます。こどもの学習力の向上ということで、学校に行くのは楽しいというところで、令和3年度が70%ぐらいだったのですけれども、今77%ぐらいになっているというところで、近い将来は80%をめざせるのではないかなというふうなところでは、学校に行くのが楽しいという表現のアンケートもどうなのかなというところで、テストの前の日だったら楽しくないだろうし、聞くときによつたらと、我々も大人で会社に行くのが楽しいですかと聞かれて、「はい、そうです」と100人言う人はなかなかいないと思うのです。こどもたち全員が学校に行くのが楽しいねんと言ってくれたら一番いいのですが、そうじゃないところもあるのかなというふうには思いますし、中学生も親の前では、先生の前では、友達と会うのが楽しいから行っている、そういうふうに勉強があまりねというようなことも言ったりしますので、なかなか数字の度合いとしては分かりにくいかもしれませんが、その学校が荒れているとか荒れていないとか、こどもたちが本当に周りから見ていて楽しかったらいいのかなというふうなところも感じております。

それから2つ目、虐待ということで、こちらにはヤングケアラーや問題を抱える要支援家庭も増えているというところですが、実態としましては、189ですか、虐待を当の本人と言いますか、当の家族からというよりも周りでこどもの泣き声が聞こえるとか、そういうことを聞いてかけてくるところからの認知件数が増えてきているというような状況であるのかなと。今年のところは結構、不登校のことについて議論が

ありまして、それについて、非常に今回12番ぐらいでしたかね、長く書いてありますけれど、また一度読んでいただいて、今度はそういう虐待についても、やはりこの人生に関わることであるというところで、この将来ビジョンについてもしっかりと書いていただいて、目標としていただきたいなというふうに考えておりました。

以上です。

○農野議長

ありがとうございます。

短い時間ではございましたが、各グループでの熱心なご議論、また貴重なご意見を多数いただき、ありがとうございます。ぜひ平野区政に反映していただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

今日は予報では雨が降ることを心配しておったのですが、何とか今ちょっと外を見ますとぬれずに帰れそうです。皆様方、本当に円滑な議事進行へのご協力ありがとうございました。

それでは、事務局さんにお返ししたいと思います。よろしく願いいたします。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

農野議長、誠にありがとうございました。

それでは、本日お配りしました【事前資料5】「新たな将来ビジョン策定に向けたワークシート」と、【当日資料2】「令和6年度平野区運営方針評価シート」と、【当日資料3】「アンケート」につきましてはご記入いただき、名札とともに、そのまま机に置いてお帰りいただきますようお願いいたします。自由意見欄の記載なので、後日の提出をご希望される方は、別途用紙と返信用封筒をお渡しさせていただきますので、事務局職員にお声がけください。

区役所からの説明は以上でございます。

それでは閉会に当たりまして、区長よりご挨拶申し上げます。

○東中区長

失礼いたします。皆様、お忙しい中、このまた夜の今、議長からもお話がございましたようにちょっとお天気の微妙な中、本当にありがとうございます。

私は先ほど、こども教育さんを横でずっと拝聴させていただいておまして、誠にありがとうございました。今、順にご発表を賜りまして、ありがとうございました。まずは安まちさん、町会加入というところで、本当に憂慮されているお気持ち、私どもも一緒でございます。よく議論になりますのが、町会に加入すると得をする、損をするというようなことで得があるよと、そのような形で誘引材料にすればどうかというような議論もされています。ただ皆様、今日先ほどお聞きして、損得というようなお話がやはり一切出られなかった、実は私はそこは同感でございまして、町会さんというところは、やはり地域をよくしようと、その心に賛同しようと、急がば回れ、その気持ち、地域を皆でよくしようやないかというところで、やはり少し時間はかかるかもしれませんが、爆発的に人数が増えるというところにはならないかもしれませんが、そういうお心でつながり合っていただく、急がば回れというところで、よりよい地域につながっていくというところが、やはり大変かもしれませんが、実は最も大事なところではないかなというふうに思っています。いやいや、そんなの言うていてもなかなかと言う面もおありという現状も、十分に私どもも拝察をしているところです。私も住んでいるところで、5年に一度、班長を務めさせていただきます。集金、町会会費を頂くというところの大変さというのは、身をもって知っております。ただその中で、やり取りをするコミュニケーションによって、そこで何か新たに生まれる、つながり、あるいは地域のムードというところが、実は町会さんというところの本当の価値ではないかなというふうに存じます。様々に大変な面でご負担をおかけして申し訳ないのですけれども、やはり町会さんというところを通して、地

皆様方の本当のつながり、本当のクオリティ、この急がば回れというところで、何とぞお力を賜ると大変ありがたく、うれしく存ずるところでございます。

それから、地域福祉さんで指摘がございました、何の数字かパーセンテージが分かりにくい面、あるいはそこのところは私どもがしっかりとこれからも改善をさせていただかないといけないと存じます。そして、多様・多彩という言葉がございました。福祉という言葉は非常に広い意味がございます。とりわけ地方自治法2条に、福祉の向上という言葉がございまして、福祉という言葉はイコールそのまま私どもの生活そのものというふうに置き換えてもよろしいかもしれません。私ども、この行政の中でも、それぞれの担当がしっかりとつながり合って、皆様方の多様なご相談やお困り事に少しでも対応できるようにしないといけないなと思いました。俗に縦割りという言葉がございます。課によって、係によって。ただ1点、若干申しあげますと、縦割りということ自体は決して悪いことではございません。といいますのは、例えば1つの福祉課の中に何とか係の中の担当者によって、実は使っている法律が全く違ったりいたします。1つの課で実は使っている法律というのは、1日に何十個と法律を使い分けたりしております。縦割り自体は決して悪いことではなく、何が悪いのかというと、縦割りがつながらないことがよくないと思えます。ですから先ほど、多様多彩な課題とおっしゃいました。ですから、この行政の中もいろいろな課や係がつながり合っていくということで、縦割りのメリットというところの軸を通していくということをしつかりとさせていただかないといけないなというふうに存じました。

それから長吉さんのニュータウン、このアピールが足りない、誠に申し訳ございません。しっかりと、はしゃぐのではなくて、平野にも新しい力が生まれていくんだというところを、はしゃぐのではなくて、落ち着いてアピールを皆さんにお伝えをしていきたいなど、そのように感じた次第でございます。

それからこども教育さん、鈴木委員さん、ありがとうございます。学校に行くのが楽しいという聞き方というのが、果たして今の時代に合うだろうかという根本的な

問いかけというふうに受止めをさせていただきました。おっしゃるように、楽しいとこどもに聞くと、最近の子は楽しくないと普通に言ってくれたりなんかもいたします。そういう生の反応というのを私どもがお聞きするというのが、実は大変大きな目的であったりいたしますけれども、今後そうしたアンケートの採らせていただき方というところを、またしっかりとご相談させていただきたいと存じます。

それから、虐待、ヤングケアラーといったことです。ヤングケアラー、私もこどものときのことを思い出しますと、実は私、小学校3年生のときに既に家に帰って、おじいちゃん・おばあちゃんの面倒を見て、それからお風呂をたいて、ご飯を炊いて、それからお父ちゃん・お母ちゃんの帰りを待って、そして弟の宿題を見て、自分のことは夜10時に家族が寝てからやるというようなことを私、こどものときにやっておりました。今思えば、今の言葉でヤングケアラーであります。では今、何でもそれがヤングケアラーかということ、やはりこどもが自己実現ができないような状況に追い込まれるということがヤングケアラーというところの本質ではないかなというふうに思っております。ヤングケアラー、これはイコール虐待、お聞きしていますと、虐待の通報はどこから入るのか、本人はなかなか言いにくいだろうと、そうしたご指摘もございました。ですから、ヤングケアラーというところの持つ本質的なところというのを、私ども担当と、先ほどの縦割りの逆によさを生かした複合的にいろいろなチャンネルで、そうしたお困りをキャッチしていくということを平野区行政組織としてしっかりとこれからも進めないといけないというふうに存じました。

様々のご意見、誠にありがとうございました。議長・副議長におかれましても、様々のご配慮をいただき本当に感謝申し上げます。そして、オブザーバーの議員先生におかれましても、どうかまた議会ご活動におかれまして、本日の内容といったところを何とぞご活用賜りますと、行政としましては、また地域皆様としまして、本日に幸せに存ずるところでございまして、誠にありがとうございました。

ちょっとざっくりしたあれですけれども、概括かたがた感謝を申しあげたく存じま

す。皆様方、本当にありがとうございました。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

それではこれで、平野区区政会議 5 月全体会を終了いたします。

本当にありがとうございました。

—了—